

## はじめに

とんちんかんソフトの公開しているソフトはすべて **Excel VBA** で記述されておりこのマクロ (プログラム) を動作するためには **Excel** の設定をマクロ有効にする必要があります。

本資料はとんちんかんソフトが行っているマクロ有効化の方法をご参考までに紹介するものです。マクロ有効化の方法は市販の **Excel VBA** 解説書や **Web** 上でも多く紹介されています。必ずしも本資料の方法が最適であるとはかぎらないことはご了承ください。

## 1. マクロの有効化の前に

マクロを悪用してコンピュータにウイルスを感染させようとする悪意をもった人たちがいることは残念なことです。特にメール添付ファイルで拡張子に **exe** のついたものは要注意のようです。

**VBA** 記述 **Excel** ファイルの拡張子は **Excel 2003** までは **xls**、**Excel 2007** から **xlsm** に変わっています。拡張子は **exe** ではありませんがマクロの有効化によってウイルスに対する危険度は少し拡大することになります。

対策としては個人使用のパソコンでは一般のウイルス対策ソフトの導入によって十分な対策になるようですが、あくまで信頼できる人やサイトから入手したもの以外はマクロを実行しないことが大切です。

とんちんかんソフトではウイルスを配布する能力も悪意も無いことだけはここにお誓いします。なお、直接とんちんかんソフトのサイトからのダウンロードを避けたい場合は ”とんちんかんソフト”およびソフト名の二つをキーワード入力して**Web** 検索してください。

**Vector** やフラットワールドソフトなどソフト紹介では実績と信頼のあるサイトからもダウンロード可能なものもあります。(このサイトでの審査がなされていると思います。)

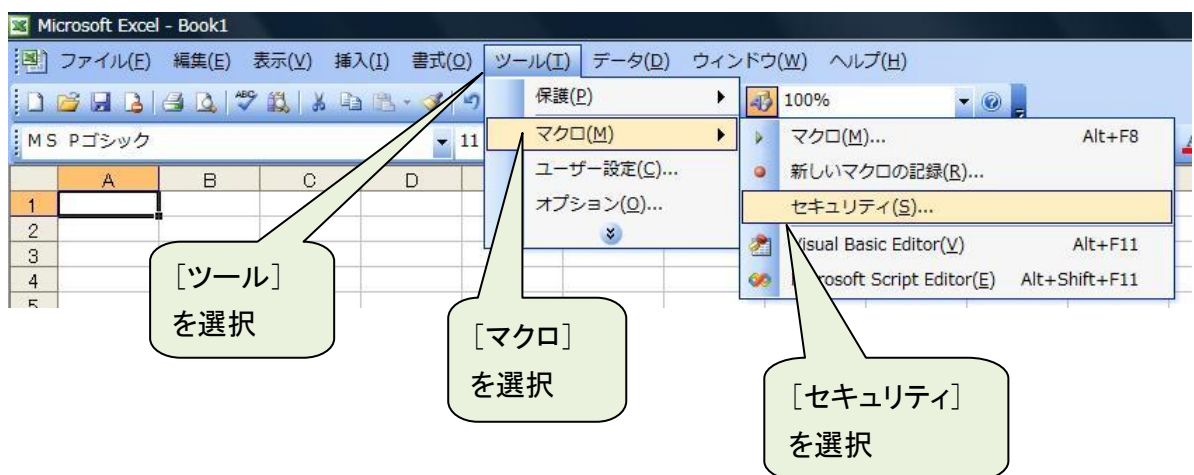
## 2. Excel マクロの有効化

### 2.1 Excel 2003 の場合

#### 1) ステップ 1

**Excel 2003** を起動します。

メニューバーの**[ツール]**→**[マクロ]**→**[セキュリティ]**の順に選択します。

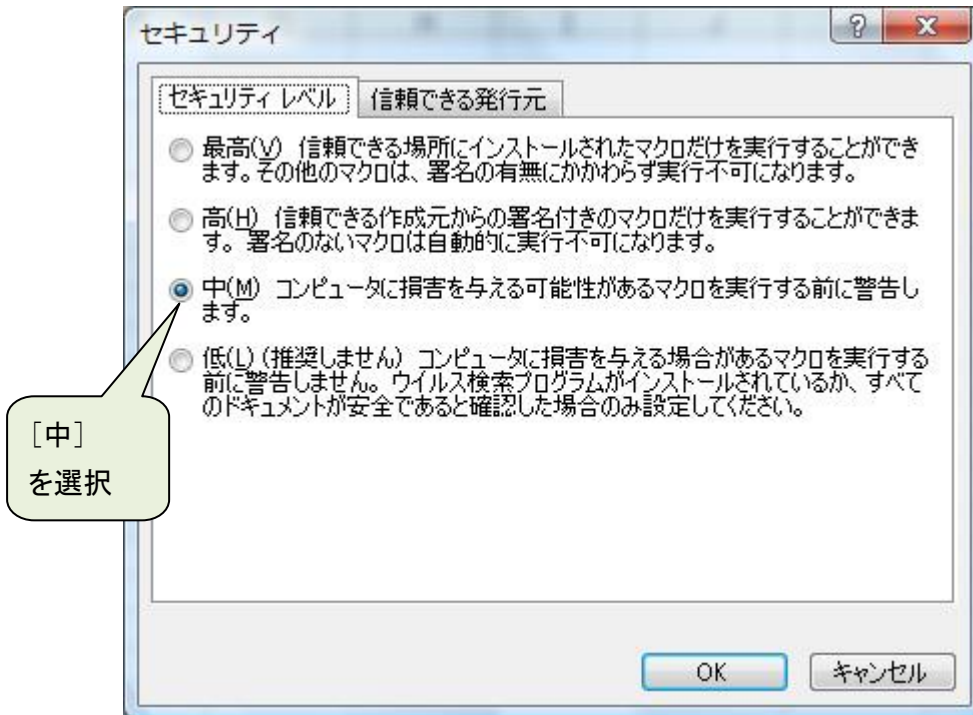


## 2) ステップ 2

セキュリティレベルの[中]を選択して[OK]ボタンを押します。

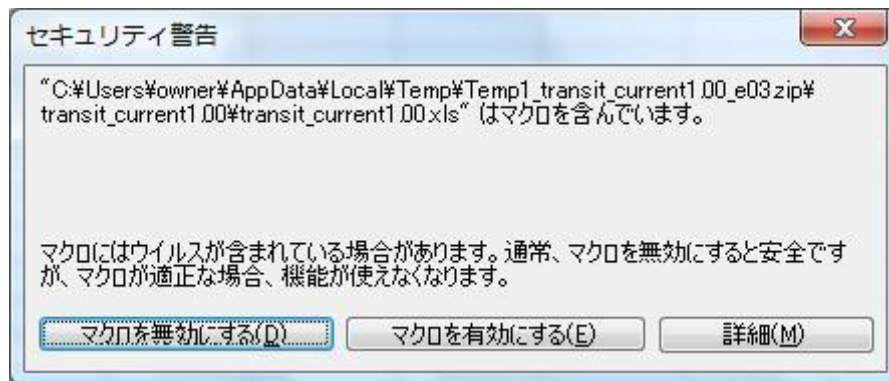
これで Excel の設定は終わりです。

注) [低]には設定しないことをお勧めします。



## 3) ステップ 3

ステップ 2 の設定終了後 VBA 記述マクロを含んだファイルを開きます。



ここで[マクロを有効にする]を選択するとプログラムの実行が可能になります。

注) VBA を含んだファイルを開く都度このセキュリティ警告ダイアログボックスが表示されます。もし信頼性の持てないファイルを開いてしまったときは[マクロを無効にする]を選択してください。

無効にしてもワークシートの閲覧などは可能です。

(もちろんプログラム実行はできません。)

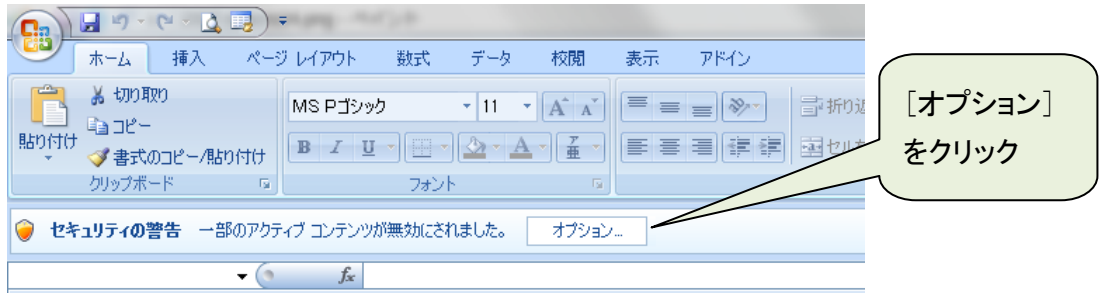
## 2.2 Excel 2007 の場合

### 2.2.1 マクロの設定が Excel 2007 既定の設定になっている場合

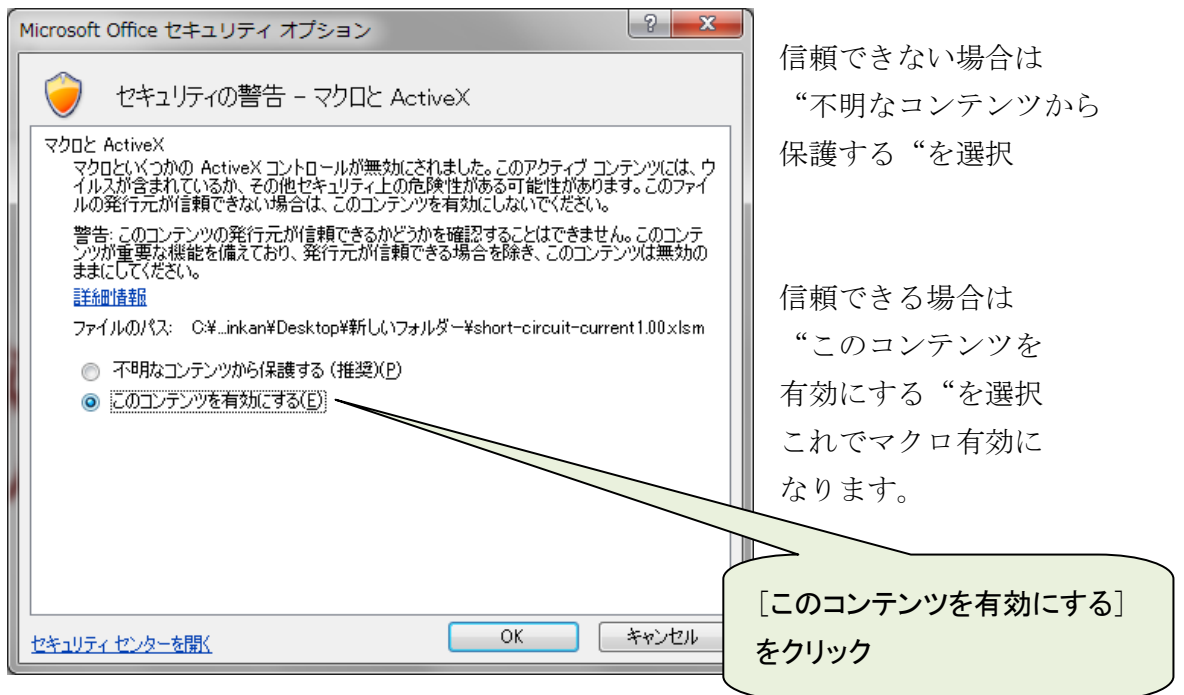
#### 1) ステップ 1

Excel の設定は不要です。

VBA を含んだファイルを開くとリボン下のメッセージバーに [セキュリティ警告] が表示されます。この [オプション] ボタンをクリックします



#### 2) ステップ 2



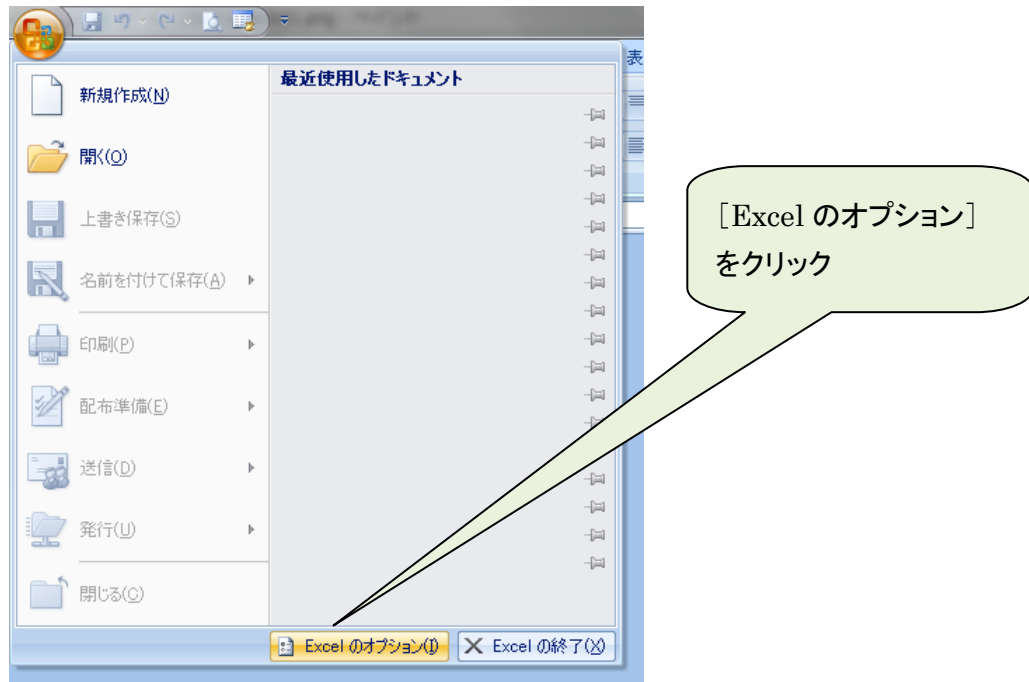
### 2.2.2 マクロの設定が Excel 2007 既定の設定から変更されている場合

2.2.1 項で述べたセキュリティ警告が表示されない場合は以下の方法で設定を既定の設定に戻します。

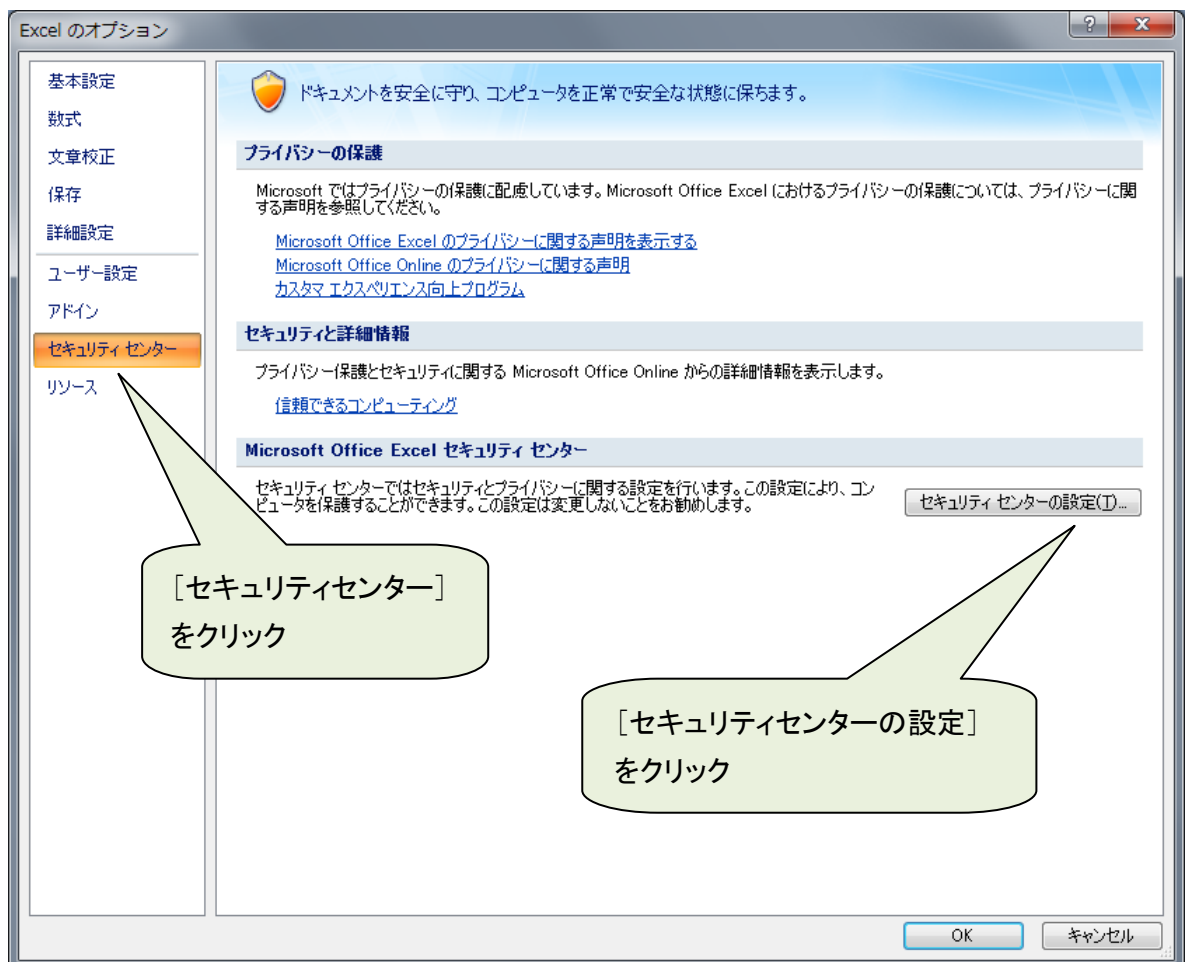
#### 1) ステップ 1 Excel 2007 を起動後 [Office] ボタンをクリック



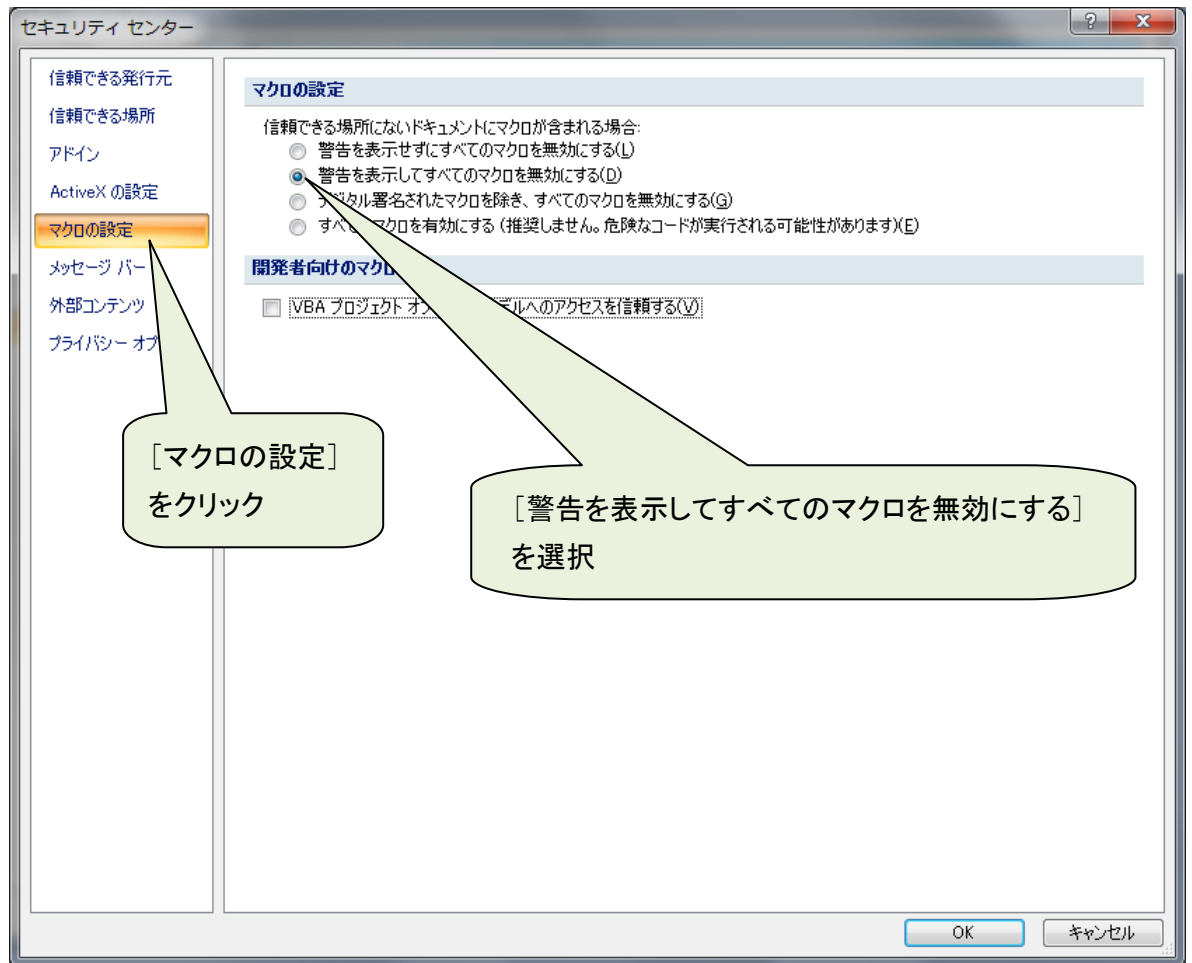
2) ステップ 2 [Excel のオプション]クリック



3) ステップ 3 [セキュリティセンターの設定]クリック

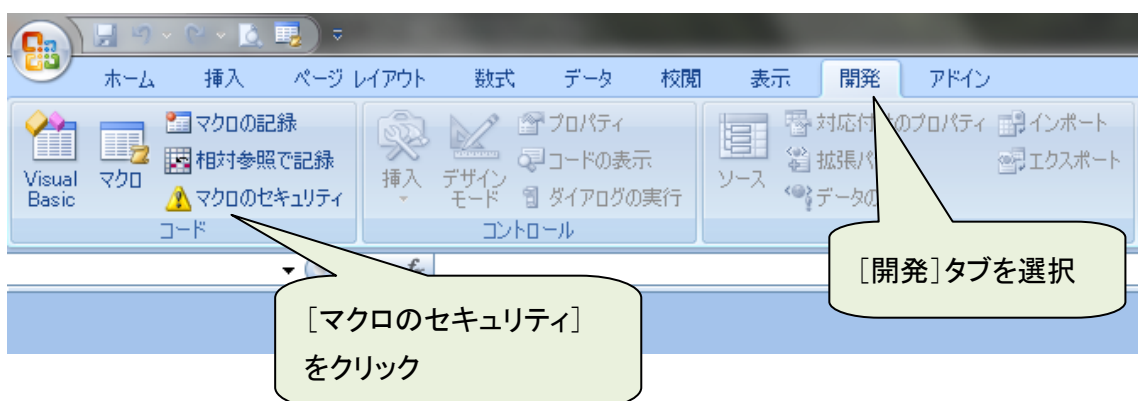


#### 4) ステップ 4 マクロの設定



ここで OK ボタンを押すとステップ 3 の画面に戻るなのでそこでも OK ボタンを押すと設定完了します。(Excel 2007 既定の設定に戻る)

(補足) Excel 画面上部に[開発]タブを表示設定している場合はこのタブを選択後 [マクロのセキュリティ]をクリックするだけでステップ 4 の操作が可能です。



[開発]タブは Excel 既定のタブ設定では表示されていません。

表示はステップ 3 で[セキュリティセンター]の代わりに[基本設定]をクリックして Excel の使用に関する基本オプションの中の “[開発]タブをリボンに表示する” にチェックを入れれば設定できます。

### 3. 信頼できる場所への保存 (Excel 2007 の場合)

これまでの方法では **Excel VBA** ファイルを開くたびに[セキュリティ警告]が表示され [このコンテンツを有効にする]オプションを選択する必要があります。

もちろんセキュリティの面では必要なステップですが何度も使った安心なファイルを開くときには煩わしさを感じます。

このような場合は信頼できる保存場所を作成してそこにファイルを保存すればファイルを開く際に[セキュリティ警告]は表示されずマクロが有効になります。

信頼できる場所の作成方法は **2.2.2** 項ステップ 4 の[マクロの設定]の代わりに [信頼できる場所]から作成できます。

詳細は **Excel** のヘルプから”信頼できる場所を作成する”で検索してください。

ただし、あくまで信頼できるファイルだけ保存することが大切です。

以上